

## ◎ 充実した高校生活を送るために

### 生徒指導部

本校では、基本的な生活習慣の確立を柱として、社会の一員としての自覚と、自らの行動に責任を持ち、自己の能力を生かすことのできる生徒になるために、「自己指導能力」の育成を念頭においてさまざまな教育活動を行っています。今年度は特に、「遅刻防止」「正しい服装・髪型」を生徒指導部の重点目標として指導をしています。そのためには、生徒自身が本校の規則をしっかり認識し、高校生としての自覚を持つ必要があります。

夏休みを前に、ご家庭でもお子さまの日頃の生活や学習状況を今一度ご確認いただき、有意義で充実した高校生活を送るため、お子さまへのご指導、ご助言をお願いいたします。

また生徒の皆さんは、いろいろな悩みを持ち、壁を乗り越えながら日々成長しています。教育相談室では、生徒の心のサポートを行っています。教育相談を通じて生徒自身が自分の抱える課題と向き合い、それを解決していけるように支援をしていきたいと思っています。今年度も臨床心理士の先生に来院していただき、カウンセリングを行っていただいていますので、保護者の皆様も気軽に利用してください。



「あいさつランドはしま」プロジェクト  
(毎月15日羽島市役所前駅にて)

## ◎ 特別活動で充実した学校生活を

### 特活指導部

学校生活で最も大切なのは、「学習」ですが、同時に高校生という最も人間として成長する時期に大事な活動が、「特別活動」です。LHR活動・生徒会活動・学校行事、そして部活動を通しての活動が学校生活に充実感をもたらします。それらの活動は教室の中では学習することができない貴重な体験をする機会であり、その活動の経験は心や体を磨き、新しい自分へと成長させてくれます。

本年度はこれまでに生徒会行事として、新入生歓迎会(4月)、球技大会(5月)が開かれました。行事では、新入生が羽島高校に慣れると同時に、各クラスの絆を強めることができ、有意義な時間になりました。

校内の行事としては最大の文化祭が9月5日(金)に開催されます。毎年、各クラスで企画を考え、生徒自らの手で様々なものを作り上げていきます。また、文化系部活動の発表の場として、吹奏楽の演奏や美術・書道の展示などの企画もあります。現在は生徒会執行部や文化委員会を中心に、各クラスでの取り組みが始まっている段階です。

10月22日(水)にはスポーツフェスティバルが予定されています。この大会では球技大会と違い、バレーボール・バスケットボール・卓球・大縄跳びなどのいろいろな種目を開催しますので、球技大会とはまた違った楽しみがあります。

11月7日(金)には芸術鑑賞会があります。本年度は「中国雑技団」の演技を羽島市文化センターにて鑑賞します。その他、生徒会執行部・Sクラブ・MSリーダーズを中心にした、「あいさつランドはしま」への参加(毎月15日)や地域のボランティア活動、羽島市における行事(美濃竹鼻なま祭等)へ参加しています。

また、「ポップスフェスタ in 羽島」を羽島高校の活動発表の場として、昨年度より部活動の作品や写真展示等を行いました。本年度は12月13日(土)に羽島市文化センターで行います。

学習以外のいろいろな活動を通して、充実した学校生活を送る源が特別活動にはあります。今後とも、本校の特別活動についてご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

## ◎ 健康的な生活を送るために

### 保健厚生部

段々と暑い日が続くようになり、体調不良を訴えて保健室に入室する生徒が多くなってきました。午前中の体育の授業に参加した後に、目眩や頭痛といった熱中症様の症状を訴えたり、吐き気や倦怠感を頻りに訴えます。その生徒に共通しているのが「朝食の欠食」です。朝食は1日の活動エネルギーを得るためにかかせないものです。朝食を食べていないと脳が働かず、授業に参加していても集中できない・考えることができないといった状態になります。健康な身体作りのためには栄養バランスのとれた食事が必要不可欠です。各家庭でのご協力をお願いいたします。

4月以降、生徒のみなさんの健康管理のために各種健康診断(内科・眼科・歯科等)が行われました。今年は欠席をする生徒が大変少なく、多くの生徒が健診を受けることができ、大変嬉しく思っています。

健康診断後、病院での治療が必要な生徒には治療のお願いのプリント(ピンク色の紙)を配付しております。特に歯科治療(むし歯)の必要な生徒が多くおりましたので、1学期中または夏季休業中を利用して治療を受け、治療報告書を提出していただくようお願いいたします。

授業に部活動、学校行事と、学校生活を楽しく健康に送るためには健康な心と体が必要です。ご家庭での健康面への見守りとご支援をよろしくをお願いいたします。

## ◎ 学びの心を培い、豊かな心を育む学校図書館の創造

### 図書視聴覚部

図書館では今年度、「生徒がつくる図書館」を合い言葉に活動しています。先日、まず手始めに図書委員で有志を募り、自由書房EX高島屋店まで店頭選書に行ってきました。

自分が読みたい本だけでなく、羽島高校の生徒に読ませたい本を、あらゆるジャンルから制限時間内で選ぶという難しい作業でしたが、5名の委員が熱心に取り組みました。学校へ戻った後、「せっかく自分たちが選んだ本だから、最後まで作業したい」と、本にラベルを貼り、印を押し、ラッピングするといった「受け入れ作業」まで積極的に手伝ってくれました。読む人の心を考えて慎重に選び、愛情を持ってラッピングまで行うという一連の作業が完了したそれらの本は今、特に輝きを放って図書館に陳列されています。生徒が選んだ本は人気が高くて、予約待ちのものも出ています。今後も、生徒が活動する場を積極的に作っていきたいと思っています。

また、図書館にあるPOPはすべて生徒によるものです。放課後の時間を利用して、アイデアを凝らして作成したものにラミネート加工を施し、図書館の特設コーナーに飾っているのですが、本をより魅力的にアピールしてくれる効果があり、こちらも好評です。

私たちは、たとえ波瀾万丈の人生を歩んだとしても、限られた経験の中で生きていますが、書物は無限の経験を私たちに模擬体験させてくれます。いろいろな事実や現実を知り、いろいろな考え方があることを知れば、自ずと決断するにあたっての材料が増えていきます。多角的なものの見方ができることは、最善の方法を思いつく一助となるのではないかと考えます。

さて、羽島高校図書館は、保護者の皆さまにも、おひとり一回5冊まで、2週間の貸し出しを行っています。リクエストにもできる限りお応えしたいと思っておりますので、ぜひお子様を通じてご利用ください。

